

ソーシャルワーク理論系科目修了レポート評価の視点

実践事例演習Ⅱ(報告会)で実践事例の報告、実践事例演習Ⅱ(報告会)の修了レポートを提出する。実践事例演習Ⅱ(報告会)(50点)と修了レポート(50点)の100点満点とし、合わせて70点以上で合格とする。4点の修了評価の基準にもとづいて、実践事例演習Ⅱ(報告会)と修了レポートの点数評価をする。

修了評価の基準と点数配分は以下のとおり。

【科目修了評価の基準】

1. ソーシャルワークの展開過程が理解できている。
2. ソーシャルワークのモデル理論が理解できている。
3. 支援計画の策定と実際の支援について、自身の実践の計画とソーシャルワークの実践理論と結びつけ、事前課題がまとめられている。
4. 受講者が自ら報告を行う。また、他の受講者の報告を聞く。これにより、相談援助の基礎に気づき、科目修了レポート等により、自身の実践の計画、振り返り、改善が行えている。

《科目修了評価の点数配分》

(1) 事前課題：25点

- ・ 事前課題の設問内容を正しく理解し、事例についてソーシャルワークの展開過程を理解し、実践理論モデルと結びつけ記述できているか。
- ・ 多数の誤字など、表記が著しく悪い場合には減点する。

(2) 報告会：25点

- ・ 報告会で自らの実践事例について、自らの言葉で分かりやすく説明できているか。
- ・ 他のメンバーの報告を聞く際に、メモをとる等して理解に努め、それをもとに質問等を行えているか。
- ・ 演習におけるルールを守り、他のメンバーに配慮しながら円滑な進行に協力ができているか。
- ・ 演習の中で、講師・ファシリテーターが確認する

(3) 科目修了レポート：50点(点数配分：科目修了レポート設問①、②各10点、③30点)

- ① 他のメンバーからの質問について正しく理解し、受け止めているか(10点)
 - ② 他のメンバーからの指摘について確認したうえで自らの実践について振り返ることができているか(10点)
 - ③ 自らの実践についてソーシャルワーク理論と結びつけ、根拠をもった実践の振り返りが行えているか。また、自らの実践への改善に結びつけることができているか(30点)
- 上記の(1)～(3)を合わせて70点以上と講師が判断した場合、科目修了とする。科目修了の点数が満たない場合には、科目修了レポートを再提出してもらい、採点する。